

11月23日ユースキッズリーダーレポート 水戸商業高校サッカー部

11月23日に水戸商業高校サッカー部1・2年生67名を対象に、今回は人数が多かったので1年生と2年生にわけて実施しました。

当初実技は雨の中、グラウンドの予定でしたが多目的ホールで行いました。

実技は「鬼ごっこ系」「ボールフィーリング系」「動きづくり系」「ゲーム」に分かれています。その要素を織り交ぜながら、また、子どもたちとの関わり方のポイントも伝えながらすすめました。

写真はアイスブレイクの一種で「チェーンノット」と呼ばれるもので手を離さないように、うまくほどこきながら一つの円を作るものでコミュニケーションをとりながら取り組んでいました。



高校生は最初は少しおとなしい感じでしたが、同学年での受講ということもあり徐々に雰囲気慣れてきて最後のゲームまで元気ありました。



座学の部分でもなるべく高校生にとっても身近な話から、現在の彼らの活動につながるようにそして、いつの日かキッズと関わる場があったときのポイントを伝えました。



アンケート抜粋

- 講習会を終えて、子どもに教えることの難しさを感じた。子どもにサッカーを楽しくふれさせるにはプレー以外の面でいかに子どもたちに興味を持たせ、楽しませるかという思考が大切だと感じた。サッカーは面白い、子どもに教える時楽しませれる人になりたい。
- 今回の講習でサッカーというスポーツの深さを感じました。サッカーを楽しむにはサッカー以外のこともしっかり学ばないといけない。自分が親になったら子どもにサッカーを大好きになってもらいたい。
- 講習会を聞いて、自分が小学生の時にやってきたことを思い出して、今日教えてもらったことを考えながらコーチたちは教えてくれたんだなと思い、いろいろなことを理解することができました。サッカーは楽しいということも久しぶりに思った1日でもありよかったです。
- 6歳の子が実際に行うトレーニングを体験してみて楽しんで行うことが出来た。ほりさんは楽しませることが上手だなと感じました。自分が指導者になったら、ぜひ参考にしたいと思います。
- コーチにやらせている練習ではなくて自分たちから積極的に楽しんでやるにはどうしたら良いのか考えさせることの大切さが分かった。例えば声を小さくしたり、練習の中でグループにランクをつけてより楽しめる工夫をすることは大切だなと思った。



講師；加藤貴之、堀之内寛

アシスタントコーチ；水戸ホーリーホックスタッフ2名

講師コメント 茨城県サッカー協会キッズ委員会（JFA 公認キッズリーダーインストラクター・鹿島アントラーズ所属）

今回ユースキッズリーダー講習会として実施しました。高校生の受講者が多いのも茨城県の特徴かと思いますが忙しい学校生活や部活の中で顧問の先生方の協力のおかげであり感謝いたします。高校生はまだ指導者のイメージは無いかと思いますが、様々な形でキッズと触れ合うこともあるかと思いますが、またこのような講習会をきっかけにキッズと積極的に関わる場面もでてくるかもしれません。そのときに少しでも参考になるのであれば幸いです。また、指導する側の立場を知ることによって、あらためて選手としてプレーすることのありがたみの感じたのではないのでしょうか。今後の彼らの選手としての活躍に期待します！